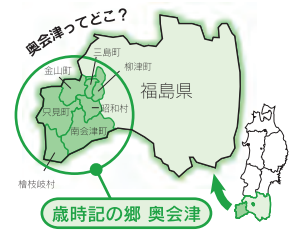


奥会津だより



山の中に若い人たちの声がかこだまするのはいい
林業実習に汗を流す高校生
杉の枝を払うのも危険と隣り合わせだが
みんなの笑顔は輝いている

写真：菅 敬浩

一枚の写真から

柳津町立柳津中学校 一年 金坂 ひより



この写真は、私の祖母が二十八歳くらいで、祖父は四十歳くらいで、一番右に居るのが、私のおばで、真ん中に居るのが、私の母で、一番左下に居るのが、私のおじで、大体三十五・六年前くらいの写真です。たぶん通りすがりの人に撮ってもらったそうです。あと、昭和五十五年くらいに撮った写真だそうです。家族全員で行って、楽しかったと言っていました。

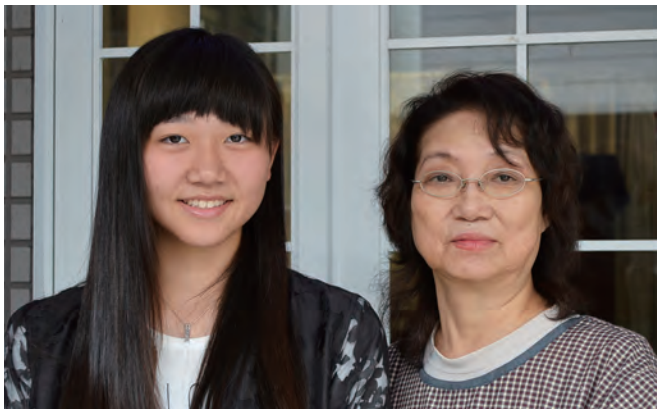
この写真は、西方の鬼子母神のお祭り、帰りに、西隆寺にお参りしに行った時の写真だそうです。鬼子母神のお祭りとは、母が、子供をすこやかに、病気やけがをしない

ように育つよう、お参りする神社なんだそうです。私はこの時、祖父や祖母が、お参りしてくれたことで、母は、一つも病気がかからないで、あまりけがをしないでいられたということ、この事につながっているんだなあ、と思いました。

この時、おばは三、四歳くらいで、母は一、二歳くらいで、おじは、五、六歳くらいだったそうです。この時のおばの顔は、今のおばの子供の三人いる内の次女の顔にそっくりで、一卵性の双子みたいなんです。なので、おばにそっくりなら私のおばそっくりになるんだな、と思っています。そして、一番下の子は、少しおじの子供の頃の鼻に似ているので、遺伝子があるのかな、と思います。一番上の子は、私のおばと、そのおばの夫の遺伝子を、ちょうど良く受けついでいて、大きくなったらどんな顔になるのか楽しみです。

この話を聞いて、私は、とても祖父母に感謝しました。お参りしたことは、神様に届いたんだな、と思いました。これからは、祖父母に、もっと感謝しながら、生活していきたいと思っています。

取材ノート



祖母：金坂 はるみ さん

(昭和26年6月9日生64歳)

孫：金坂 ひより さん

(平成13年10月27日生13歳)

〔柳津中2年〕

はるみさん：車で西隆寺まで行って(裏山の鬼子母神堂まで) 5人でお参りしました。子どもたちをおんぶしたり、だっこしたりしたかもしれないけど、みんなで歩いて登った。私若かったから、トントコトントコ歩いて登ったの。

Q：いとこの人たちのことがたくさん書かれています、どうしてでしょう？

ひよりさん：かわいいからです。

はるみさん：ひよりちゃんひよりちゃん、って子どもたちに慕われて、子守り上手なの。

Q：ひよりさんがばあちゃんから聞いて書いたものが本になりましたね。

はるみさん：我が孫ながら、大したもんだなあ……。

Q：ひよりさん、ばあちゃんと話をし

てどうですか？

Q：古い写真を見ながら、お孫さんと話をしたのは初めてですか？

はるみさん：それは、初めてだよ。

ひよりさん：うん。

Q：昭和55年頃に撮影された写真です

ね。

はるみさん：嫁いできたこの家が大家族で、とにかく稼がなければならぬ。

4つもの店を経営した時がありました。若かったからできた、ということもあるかな……。

このお店を作る時に、古い家を全部壊して、家族が多かったから住宅3棟借りて一時引っ越したのよ。

Q：西方の鬼子母神に行った時の写真

です。

ひよりさん：楽しくて元気になるし、教えられることもあります。
はるみさん：今まで、いろいろあったけれど、「苦労した」とは言わないで「大儀だった」、と言うようにしているの。苦労したっていうと角がたつから……。

取材メモ

はるみさんは、現在も美容室ロマン経営。会津坂下町出身。
ひよりさんは、高校3年生の兄と2人兄妹。

じいちゃんは、パークッションやカラオケを楽しんでいる。
(写真・文責：菅 敬造)

不思議な話

栗城ナミ子さん
(昭和12年生まれ・昭和村)

昔は祝言によばれると、ご馳走はほとんど手をつけなくて家族へのお土産にした。菓で作ったつっこに、おひらの残ったの、吸い物の吸い上げたあとの具、皿の中身、みんな包んで背負ってきたものだ。それを持ち帰って「つと開き」するのを家族は楽しみに待っていた。ところが、たいいてい、途中の山道でいつのまにか、つっこがなくなってしまう。キツネに取られちゃうんだといわれた。

(採録：渡部 和)

奥会津の食材と料理



くじら汁

新ジャガができると登場するのがくじら汁。塩くじらを薄く切ってサツと湯がき、ジャガイモが柔らかくなったら投入して味噌で仕立てる。まだ暑い日盛りに食べる、くじらの油膜の下の熱々のジャガイモが絶品。夏を惜しむように大汗が流れる。

奥会津の生き物たち セグロセキレイ



水辺で見られる白と黒の対照が鮮やかな鳥。日本特産種だが、近年、新参者のハクセキレイに生息地をうばわれつつある。奥会津ではカーラシヨージとよぶ。尾をひんぱんに上下する動作を河原のそうじにたとえたか。

(鳥と花の写真・文：新国 勇)

暦に添う暮らし



堆肥枠

農作業の始まりと同時に畑の脇に設置された木製の堆肥枠。雑草や毎日の残飯などを丁寧に積み上げて、木枠はどんどん上に押し上げられた。降雪の前に木枠が外され、積み上げた堆肥が半年間雪の下で醸成されると、優れた肥料となって再び畑に戻ってくる。虫除け用に振り入れたわずかの石灰窒素やこぬかも、やがて肥料に生まれ変わる。一年間のたゆまぬ循環の姿。

キツリフネ



日陰の湿った場所に自生する。近縁のツリフネソウと一緒に生えることもあるが、奥山の方に多い。和名は舟を吊り下げたような花姿による。ともにハウセンカの仲間。熟した果実にふれると、種子を勢いよくはじき飛ばす。

軒先の風景

写真・文 竹島 善一

煙出しを持つ萱屋根の曲り屋。
この地方の典型的な屋根である。巧みに積み上げられたたくさんのワラが、冬の手仕事を思わせる。丸太は、ハゼの後の雪囲い用であろうか。梯子、戸障子に至るまで、ほとんどは地元、天然の資材で調達されている。
何の障りもない、穏やかな秋の日のぬくもり。好々爺の至福の時。

(昭和54年10月 只見町梁取)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「早くきゃれ」

ヒント：丁寧語です。

正解者の中から抽選で2名様に、金山町の「マタビザル」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2015年10月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号89号で発表いたします。



◎87号「ハヤッコ」の答え：早く来なさい

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



- 近年、若い人たちから各地の方言が消えて、めったに聞かれなくなりました。少し寂しい気がします。私たちの年代には、とても優しく含みがあって、いい言葉だと思うのですが…。(福島県昭和村：T.Tさん)
- 夕顔が食品とは思いませんでした。ヘチマかと思いましたが、ヘチマのような力ポチャもあると聞き、素晴らしい農作物だと思いました。(千葉県我孫子市：K.Kさん)
- カワセミは一度だけ見たことがあります。青と赤がとてもきれいで、すぐに分かりました。(大阪府高槻市：O.Hさん)
- 祖父母と孫の対話から、地域の暮らしを伝えようとする丁寧な姿勢を感じる。(茨城県結城市：S.Hさん)
- 特に「軒先の風景」が素晴らしい。盆帰りの人々が先祖の霊を敬い、人々の絆を確かめる。忘れてならない日本人の魂ですね。(福島市：S.Kさん)
- 表紙の写真のお二人と他界した父母の面影を思うと、人生は古里で慎ましく暮らすのが一番だと痛感させられます。(東京都：M.Iさん)

奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

トロッコ列車が走ります!

❖風っこ只見線涼風号 9月20日📅～22日🔥・祝

❖風っこ只見線紅葉号 10月24📅・25日📅

❖SL只見線紅葉号 10月31日📅・11月1日📅

奥会津イベント情報

10月～11月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
10月3日(土)～10月4日(日)	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーマーチ	館岩地域	湯ノ花～木賊・たかつえ	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5677
10月5日(月)～11日(日)	歳時記の郷 奥会津展	仙台市	東北電力グリーンプラザ	奥会津振興センター ☎0241-48-5525
10月8日(木)	第15回福島・新そばを食べるゴルフコンペ	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
10月10日(土)	第4回会津やないづ赤べこまつり	柳津町	中の橋周辺(大字柳津字諏訪町地内)	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
	南郷うた*たねフェス	南郷地域	会津高原南郷スキー場センターハウス	南郷うた*たねフェス実行委員会 nango.utatane.fes.info@gmail.com
10月10日(土)～10月11日(日)	自然首都只見うまいもんまつり	只見町	JR只見駅前	只見町商工会 ☎0241-82-2380
	人形塚供養祭	柳津町	圓蔵寺	柳津町観光協会 ☎0241-42-2346
10月11日(日)	自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン	只見町	JR只見駅前	只見町商工会 ☎0241-82-2380
	大博多山秋の山開き	伊南地域	大博多山登山口	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
10月17日(土)	伊南川ウルトラ100Km遠足	伊南地域	伊南地域～檜枝岐村	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5677
	載ちそばキャンペーン(第28回会津高原たていわ新そば祭り)	館岩地域	館岩広域案内所前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5677
10月17日(土)～10月18日(日)	第11回会津の編み組工芸品展	三島町	交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第5回ものづくり再光		三島町生活工芸館 2階大工芸室	
10月18日(日)	第53回只見町駅伝競走大会	只見町	只見町内	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
	伊南川古町温泉あゆまつり	伊南地域	古町農村公園	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	第30回ゴーマン杯南会津町ふるさと健康マラソン大会	館岩地域	館岩ランド	南会津町振興公社館岩支局 ☎0241-64-5677
10月24日(土)	南郷新そばまつり	南郷地域	会津高原南郷スキー場センターハウス	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
10月24日(土)～10月25日(日)	奥会津ごっつおまつり	金山町	金山町中川 町民体育館周辺	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
10月25日(日)	第17回昭和村秋味まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	昭和村秋味まつり実行委員会 ☎0241-57-3100
	南郷トマトまつり	南郷地域	JA会津みなみ西部グリーンセンター前	JA会津みなみ西部グリーンセンター ☎0241-71-1453
10月30日(金)～10月31日(土)	第32回檜枝岐の新そばを味わうタベ※定員制・要予約	檜枝岐村	東雲館	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
11月上旬	古町の大イチョウライトアップ	伊南地域	古町 旧伊南小学校	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	柳津町文化祭・農林業まつり	柳津町	やないづふれあい館	柳津町役場生涯学習班 ☎0241-42-3511
11月3日(火・祝)	三島町文化祭・三島小まつり	三島町	三島町町民センター・三島小学校	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
	第45回只見町文化祭	只見町	只見振興センター	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
11月8日(日)	第8回会津やないづ新そばまつり	柳津町	やないづふれあい館	柳津町商工会 ☎0241-42-2552
11月14日(土)	第23回只見新そば祭り	只見町	季の郷 湯らり	季の郷 湯らり ☎0241-84-2888
	只見ユネスコエコパーク登録1周年記念「檜枝岐歌舞伎」上演		只見小学校 体育館	只見町総合政策課 ☎0241-82-5220



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：9月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ✉webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。